

防衛省 予算監視・効率化チームの  
上半期(4～9月)活動状況について

平成22年11月16日

防衛省

# I 上期取組み総評

## チームリーダーによる上期取組み総評

### ①重点を置いている考え方

- ・ 予算監視・効率化チームの活動を通じて、予算の執行に携わる職員に各事業を効率的な予算執行の観点から見直すことの重要性を再認識させること。
- ・ 多種多様な事業を可能な限り網羅して、効率化のための具体的な見直しや検討の方向性を見出すこと。
- ・ 専門的な分野に関して、外部に対して出来るだけ理解が得られるように説明すること。

### ②上期取組みコメント

- ・ 前記の考え方を念頭に、他省と比較しても膨大かつ多種多様な事業の効率化について、出来る限り丁寧に行ってきたと考えている。
- ・ しかし、短時間では量的に困難なところがあるとはいえ、やや規模の大きい事業に対するチェックに目がいきがちであるため、規模の小さな事業であっても、まだまだ効率化を進められる余地がある事業が存在していると思われる。
- ・ また、チーム会議の進め方については、形式的にならずに納税者の立場に立って議論することが重要である。

### ③課題認識を踏まえた下期取組みコメント

- ・ 上期の取組みにおける課題を踏まえ、防衛省としては、規模の大きな事業のみならず、規模の小さな事業にも積極的に目を向けて、予算監視・効率化チームが大胆に様々な部分を見直していくこととしたい。
- ・ そのためにもチーム会議の進め方については、実効性の確保に向け更なる改善を検討したい。
- ・ また、外部有識者コメントにもあるとおり、特に専門的な分野に係る説明や開示に当たっては、部外の方からも理解をいただくための努力や工夫が必要である。

## II 上期取組みコメント

---

### 外部有識者による上期取組みコメント

- ・ 防衛は国の大事な機能であるが、予算の制約からは切り離せない。防衛省の職員は節約意識を持って、国民の納得する予算に出来るかを考える必要がある。（蒲谷氏）
- ・ 事業が膨大で形式的になっている部分は見受けられたが、防衛省では大変な努力をされたと思う。専門的分野で制約は多いが、もう少し一般国民にわかりやすい言葉で説明する必要があるのではないか。（清水氏）
- ・ 初めての試みであることを考えれば及第点であり、防衛省の努力は認められる。事業を出来るだけ満遍なくチェックしたり、自己評価等においてわかりやすい表現を用いる等、課題は沢山あるのではないかと。（松村氏）
- ・ 防衛省は、安全保障の技術上の問題や防衛産業の特長など色々難しい問題があると思うが、随意契約についての説明の工夫が必要ではないか。また事業も膨大で難しい面はあると思うが、自己評価等の内容がきちんと伝わるように工夫する余地はあるのではないかと。（村田氏）
- ・ 政策評価、内部監査、会計検査院の検査等、そして本チームの取組みがうまく連携し整理されていけば、作業効率的には良くなるのではないかと。（山谷氏）

### Ⅲ 予算監視・効率化の推進体制

#### 予算監視・効率化チームの構成

チームリーダー：安住防衛副大臣  
有識者：別途選任※  
事務局長：経理装備局長  
事務局次長：大臣官房企画評価課長  
経理装備局会計課長  
チームメンバー：鎌田大臣官房審議官  
大臣官房文書課長  
防衛政策局防衛政策課長  
運用企画局事態対処課長  
人事教育局人事計画・補任課長  
経理装備局監査課長  
経理装備局装備政策課長  
地方協力局地方協力企画課長  
防衛大学校総務部会計課長  
防衛医科大学校経理部主計課長  
防衛研究所総務課長  
統合幕僚監部総務部総務課長  
陸上幕僚監部監理部会計課長  
海上幕僚監部総務部経理課長  
航空幕僚監部総務部会計課長  
情報本部総務部会計課長  
技術研究本部総務部会計課長  
装備施設本部会計課長  
防衛監察本部総務課長

#### ※外部有識者

蒲谷亮一  
(元横須賀市長、元全国基地協議会会長、  
全国基地協議会顧問)

郷原信郎  
(名城大学総合研究所教授、コンプライア  
ンス研究センター長、弁護士)  
※公正入札調査会議委員

清水涼子  
(関西大学会計専門職大学院教授、  
公認会計士)  
※防衛調達審議会委員

松村昌廣  
(桃山学院大学法学部教授)

村田晃嗣  
(同志社大学法学部教授)

山谷清志  
(同志社大学政策学部・大学院総合政策  
科学研究科教授)  
※防衛省政策評価に関する有識者会議

## IV 平成22年度 実施状況等

### (1) 平成22年度予算執行計画の公表日と掲載場所

公表日：平成22年5月13日(木)

掲載場所：防衛省ホームページ

【[http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi\\_koritsu/pdf/02/02.pdf](http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi_koritsu/pdf/02/02.pdf)】

### (2) 予算監視・効率化チーム定例会合の開催状況

#### 開催実績

第1回（平成22年4月22日）

- ①予算監視・効率化チーム及び作業サブチームにおける会議議事規則
- ②平成22年度防衛省における行政事業レビュー実施のための行動計画

第2回（平成22年5月13日）

- ①外部有識者の選任
- ②平成22年度防衛省予算執行計画

第3回（平成22年6月30日）

- ①行政事業レビュー中間取りまとめ

第4回（平成22年8月10日）

- ①行政事業レビュー対象事業のチーム所見
- ②第2四半期重要執行案件事前審査

第5回（平成22年10月22日）

- ①第3四半期重要案件事前審査
- ②第1四半期執行状況評価
- ③行政事業レビューの平成23年度概算要求への反映

## V 支出負担行為又は支出に関する計画の進捗管理

### (1) 計画立案対象経費

- ・ 補助金等、旅費及び庁費、中央調達（装備品等の大規模調達）

### (2) 進捗管理の上期実施状況

#### ① 上期の取組み・進捗コメント

- ・ 補助金等（基地周辺対策関係）
  - ： 執行時期の変更による差額が生じているものの、不要不急等の不適正な執行は認められない。
- ・ 補助金等（国家公務員等共済組合負担金等）
  - ： 人事・給与計画との相違による差額が生じているものの、不要不急等の不適正な執行は認められない。
- ・ 旅 費： 人事計画の変更等による差額が生じているものの、不要不急等の不適正な執行は認められない。
- ・ 庁 費： 執行時期の変更等による差額が生じているものの、不要不急等の不適正な執行は認められない。
- ・ 中央調達： 執行時期の変更等による差額が生じているものの、不要不急等の不適正な執行は認められない。

#### ② 上期進捗実績表：別紙参照

### (3) 開示の対応状況

掲載場所：防衛省ホームページ

【[http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi\\_koritsu/pdf/05/02.pdf](http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi_koritsu/pdf/05/02.pdf)】

## VI 予算執行上の重要な決定等についての事前審査

---

### (1) 事前審査対象の範囲

- ・ 補助総額が1件10億円以上の補助金
- ・ 調達金額が1件10億円以上の事業

### (2) 事前審査の上期取組み・状況コメント

#### ①上期の取組み

- ・ 第2四半期執行分： 22件
- ・ 第3四半期執行分： 114件

#### ②状況コメント

予算監視・効率化チームメンバー及び外部有識者から、その必要性・有効性・効率性等について様々な意見が出され、執行原課として、それらを踏まえた執行をすることで了解を得ている。

## VII 国民の声及び職員参画向上等の取組み等

### (1) 国民の声の受付・対応

①受付体制の整備状況

掲載場所：防衛省ホームページ

【[http://sec.mod.go.jp/mod/j/approach/others/service/kanshi\\_koritsu/form.html](http://sec.mod.go.jp/mod/j/approach/others/service/kanshi_koritsu/form.html)】

②上期受付状況

受付件数：1件

③開示の対応状況

年度分を取りまとめて開示予定

### (2) 予算執行の効率化等に向けた職員参画向上等の取組み

- ・ 省内の職員研修等の機会毎に、予算執行の適正化、効率化に係る認識向上及び創意工夫、業務改善の重要性等を講義し、政府全体の取組である行政事業レビューにおける防衛省の取組みについて、周知徹底を図ることとしている。

### (3) 予算要求への反映状況

- ・ 行政事業レビュー反映事業数：123事業
- ・ 反映額：約97億円

## Ⅷ 「予算執行の情報開示充実に関する指針」に基づく開示情報

「予算執行の情報開示充実に関する指針(平成22年3月31日 内閣官房国家戦略室)」に盛り込まれた事項にかかる開示状況については、以下の通り。

指針事項	開示の対応状況
1. 予算執行情報開示に関する一元的なアクセスポイントの創設	防衛省ホームページ 【 <a href="http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi_koritsu/materials.html">http://www.mod.go.jp/j/approach/others/service/kanshi_koritsu/materials.html</a> 】
2. 予算執行状況の継続的な開示	毎月の支出状況を四半期毎に開示
3. 予算執行に関する意思決定の情報開示	(1) 公共調達に関する情報開示: 競争入札及び随意契約に関する情報を毎月開示 (2) 公共事業等に関する情報開示: 該当なし (3) 補助金に関する情報開示: 補助金に関する情報を毎四半期開示
4. 予算の支出目的に着目した情報開示	(1) 委託調査費: 執行状況を毎四半期開示 (2) タクシー代: 執行状況を毎四半期開示

## Ⅸ その他の取組み及び自己評価

### (1) その他の取組み

- ・ 外部有識者への事前説明会の実施  
予算執行計画に基づく重要案件の執行事前審査や行政事業レビューの実施に当たっては、外部有識者に対し、事前に事業を担当する各課長等から事業の概要や問題点等に関する説明会を実施することにより、チーム会議や行政事業レビュー公開プロセスにおける議論の活性化、円滑化を図った。
- ・ 省内研修における講義の実施  
省内の職員研修等の機会毎に、予算執行の適正化・効率化に係る認識向上及び施策の創意工夫、業務改善の重要性等を講義した。

### (2) 予算執行計画を含む、予算監視・効率化の取組み全体の自己評価

- ① 取組み全体の自己評価  
チーム会議及び外部有識者への事前説明を積極的に実施し、予算執行計画に基づく審査や自己評価、公開プロセスを含む行政事業レビューによる点検を適切に実施した。  
今後も、引き続き予算執行の効率化に努めていく。
- ② 開示の対応状況  
予算執行の情報開示充実に関する指針に基づき適切に実施してきた。